

独立行政法人 雇用・能力開発機構

ご回答のお願い

1. 回答は、当てはまる選択肢に○を付けていただくか、人数等の数値をご記入いただくようお願いいたします。
2. **2010年(平成22年)6月1日現在**についてご回答をお願いします。社内の数値等がこの日付とずれる場合は、可能な限りこれに近い月日における現状をご記入下さい。
3. 業務ご多忙の折恐縮ですが、**回答は 月 日までに**、同封の封筒によりご返送いただくようお願いいたします。

この調査は、個人経営を含め、建設業15,000社を無作為に抽出し、調査票を送付しております。調査の結果は、統計的に分析し、個々の事業所の情報が公表されることはありません。また、ご回答いただいた内容は外部に漏らさぬよう細心の注意を払いますので、貴社における雇用管理等の実状について、ありのままをご回答いただきますようお願いいたします。

<調査票に関するお問い合わせ先>

調査事務局： (担当)
電話： FAX：

この調査票は、無記名でご回答ください。
※会社名・氏名をご記入いただく必要はありません。

I 企業の属性に関する事項

1. 所在地	() 都・道・府・県				
2. 主たる業種 (日本標準産業分類 小分類による)	当てはまるもの1つに○を付けて下さい。 A. 一般土木建築工事業 B. 土木工事業(舗装工事業を除く) C. 舗装工事業 D. 建築工事業(木造建築工事業を除く) E. 木造建築工事業 F. 建築リフォーム工事業 G. 大工工事業(型枠大工工事業を含む) H. とび・土工・コンクリート工事業 I. 鉄骨・鉄筋・橋梁工事業 J. 石工・れんが・タイル・ブロック工事業 K. 左官工事業 L. 板金・金物工事業 M. 塗装工事業 N. 床・内装工事業 O. その他の職別工事業(かわら、防水工事業等) P. 電気工事業 Q. 電気通信・信号装置工事業 R. 管工事業(さく井工事業を除く) S. 機械器具設置工事業 T. その他の設備工事業				
3. 事業形態	当てはまるもの1つに○を付けて下さい。 A. 株式会社 B. 有限会社 C. 合資会社 D. 合名会社 E. 個人経営				
4. 貴社の平成22年6月1日現在の、直接雇用する従業員の人数を就業形態ごとに記入して下さい。 ※設計等の内勤技術者は事務・営業等に含まれます。また、単純作業員は技能労働者には含まず、その他としてください。 ※いない場合は、当てはまる欄に0(ゼロ)とご記入ください。 ※一人親方など雇用せずに活用している就労者は、Ⅶで回答してください。					
就業形態	経営者・ 常勤役員	常用 (注1)	うち家族従業員	期間雇用・ 臨時雇用(注2)	日雇 (注3)
経営者・常勤役員	人				
事務・営業等		人	人	人	人
現場監督・作業所長		人	人	人	人
技能労働者		人	人	人	人
その他		人	人	人	人
5. 労働組合の有無	当てはまるもの1つに○を付けて下さい。 A. ある B. なし C. 不明				

注1 雇用契約において雇用期間の定めのない人、または1年以上の雇用期間が定められている人をいいます。
 注2 雇用契約において1か月以上1年未満の雇用期間が定められている人をいいます。なお、反復更新して1年を超える雇用者であっても期間雇用・臨時雇用に含めます。
 注3 日々雇用される人、あるいは雇用契約において1か月未満の雇用期間が定められている人をいいます。

II 経営状況及び雇用の動向

1. ここ2～3年の受注工事高について、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 A. 10%以上増加 B. やや増加 C. 横ばい D. やや減少 E. 10%以上減少
2. ここ2～3年の利益（粗利、営業利益、経常利益等比較の可能なもの）について、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 A. 10%以上増加 B. やや増加 C. 横ばい D. やや減少 E. 10%以上減少
3. 貴社には他社に簡単には真似のできない独自の技術等がありますか。
 A. ある B. ない
4. 会社には安定した売り上げとなる仕事（受注）がありますか。
 A. ある B. ない
5. 人材確保に関して貴社の現状について当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 ア. 必要な人材は確保できていますか。
 A. ほぼできている B. どちらかといえばできている C. あまりできていない D. できていない
 イ. 雇用者数は仕事量に対して十分ですか。
 A. 十分である B. どちらかといえば十分である C. あまり十分でない D. 十分でない
6. 若年者の人材確保に関して貴社の現状について当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 ア. 質のよい若年者が確保できていますか。
 A. ほぼできている B. どちらかといえばできている C. あまりできていない D. できていない
 イ. 若年者は定着していますか。
 A. ほぼ定着している B. どちらかといえば定着している C. あまり定着していない D. 定着していない
 ウ. 若年者の大半は仕事にやりがいをもって働いていますか。
 A. やりがいをもって働いている B. どちらかといえばやりがいをもって働いている
 C. あまりやりがいをもって働いていない D. やりがいをもって働いていない
 エ. 社内でこれから任せられる社員が育っていますか。
 A. ほぼ育っている B. どちらかといえば育っている C. あまり育っていない D. 育っていない
7. 貴社における技能労働者の直近3ヶ年（平成19年1月1日～平成21年12月31日）の動向及び3年後の増減の見込みについて、就業形態ごとに、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

就業形態	常 用	期間雇用・臨時雇用	日 雇
技能労働者の直近3年間の動向	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない

就業形態	常 用	期間雇用・臨時雇用	日 雇
技能労働者の今後3年間の見込み	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない	A. 増加 B. 減少 C. 変わらない

Ⅲ 新規分野や成長分野への進出の状況

1. 現在、新規分野・成長分野へ進出されていますか。当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 - A. 既に進出している →2. へお進み下さい
 - B. 計画、検討中である →2. へお進み下さい
 - C. 進出の予定はない →IVへお進み下さい

2. (上記1にA又はBと回答した方のみご回答下さい。)
進出又は計画、検討されているのは以下の分野のどれに当てはまりますか。3つまでお選び下さい。
 - A. 建設業関連分野
 - B. 福祉関連分野
 - C. 環境・リサイクル関連分野
 - D. 農林水産関連分野
 - E. サービス関連分野
 - F. 製造関連分野
 - G. 小売関連分野
 - H. その他→具体的にお書き下さい ()

3. (上記1にA又はBと回答した方のみご回答下さい。)
新規分野・成長分野の売上又は受注の割合は、全体に対しどの程度ですか(又はどの程度を予定していますか。)。当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 - A. 70%以上
 - B. 50%程度
 - C. 30%以下

4. (上記1にA又はBと回答した方のみご回答下さい。)
新規分野・成長分野への進出に際して、また計画、検討にあたって、課題になったこと、または課題となると考えられることは何ですか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。
 - A. 資金調達
 - B. 新事業の事業計画の策定や事業の推進に際し、中心的な役割を担う人材の確保
 - C. 既存従業員の配置転換
 - D. 既存従業員の教育訓練
 - E. 退職する従業員の再就職
 - F. 他社との業務提携
 - G. 市場開拓
 - H. マーケティングリサーチの困難さ
 - I. その他→具体的にお書きください ()

Ⅳ 雇用形態及び労働保険・社会保険の加入状況

1. 技能労働者の雇用形態として、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。
 - A. 主に常用の月給制 →4にお進み下さい
 - B. 主に常用の日給月払制等 →2にお進み下さい
 - C. 主に非正規雇用(臨時、季節、日雇い等、常用以外の雇用形態) →3にお進み下さい

2. (上記1にBと回答した方のみご回答下さい。)
常用の月給制にできない理由として、当てはまるものを3つまでお選び下さい。
 - A. 工事受注量の変動が大きいため
 - B. 勤労意欲の低下や欠勤の増加につながるため
 - C. 財政基盤が弱く、固定費増が困難であるため
 - D. 労働者自身が月給制を望まないため
 - E. 積算・見積等が積上方式になっているため
 - F. 月給制にする良い方法が見出せないため
 - G. 昔からの慣習であるため
 - H. その他→具体的にお書きください ()

3. (上記1にCと回答した方のみご回答下さい。)

常用(月給制、日給月払制等)にできない理由として、当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- A. 工事受注量の変動が大きい
- B. 財政基盤が弱く、固定費増が困難であるため
- C. すぐに代わりを見つけることができるため
- D. 労働者自身が望まないため
- E. 昔からの慣習であるため
- F. その他→具体的にお書きください ()

4. 技能労働者の労働保険・社会保険の加入状況について、就業形態ごとに、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

就業形態	常用	期間雇用・臨時雇用	日雇
労働・社会保険			
雇用保険	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない
健康保険 (協会けんぽ・健保組合)	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない
国民健康保険	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない
厚生年金	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない
国民年金	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない	A. 100% B. 70% C. 50% D. 30% E. 加入していない

V 労働時間等

1. 貴社の労働時間は以下のどれに当てはまりますか。当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

- A. 一年単位の変形労働時間制
- B. 半年、あるいは一ヶ月単位の変形労働時間制
- C. 完全週休二日制
- D. 隔週または何らかの週休二日制
- E. その他→具体的にお書き下さい ()

2. 貴社には次のような制度がありますか。制度があり実態としても利用されている場合は○を付けて下さい。

(複数回答可)

- A. フレックスタイム制
- B. 裁量労働制
- C. 年次有給休暇制度
- D. 育児休暇制度
- E. 特別休暇制度
- F. AからEのような制度はない

3. 会社では、計画的な休暇取得に取り組んでいますか。

- A. 取り組んでいる
- B. 取り組んでいない

4. 就業規則の定めについて当てはまるものを選んで下さい。

- A. 定めている
- B. 定めてない

VI 離職者等再就職支援

1. 過去3年間に離職した人がいる場合、年齢階層別に人数を表にご記入ください。

年齢	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65歳以上
本人の都合	人	人	人	人	人
事業主の都合	人	人	人	人	人
定年	人	人	人	人	人

2. 事業主の都合により離職する人に対して、再就職支援を行っていますか。当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

- A. 本人の要望を確認し、希望者には会社として支援を行うこととしている。
- B. 会社として統一的に行うことにはしていないが、本人から特に要望があった時には支援するようにしている。
- C. 会社としては支援することとしない。→4にお進み下さい

3. (上記2にA又はBと回答した方のみご回答下さい。)

どのような再就職支援を行っていますか。当てはまるものを3つまでお選び下さい。

- A. 他の建設会社への就職あっせん
- B. 建設会社以外の会社への就職あっせん
- C. 再就職のための教育訓練の実施
- D. 求職活動のための有給休暇(1週間以上)の付与
- E. 再就職支援会社等への再就職支援委託
- F. その他→具体的にお書きください ()

4. 離職者等再就職支援に関して、行政に求める支援は何ですか。具体的にお書き下さい。

()

VII 一人親方の活用状況

1. 貴社では、現在、一人親方(※)を活用していますか。

※労働者を常時使用しないで事業を行う者

- A. 活用している
- B. 活用していない(必要性を感じていない)

2. 貴社における一人親方の直近3カ年程度の動向について、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

- A. 増加
- B. 減少
- C. 変わらない
- D. わからない

3. (上記1でAと回答した方のみご回答下さい。)

1つの建設現場において、どの職種に平均何人活用していますか。

主たる職種	人数	主たる職種	人数
A. 職長	人	L. 防水工	人
B. 建設用機械 運転工	人	M. 土木作業者	人
C. 電気作業員	人	N. ブロック積工、タイル張り	人
D. 型枠大工	人	O. 板金工	人
E. とび工	人	P. 屋根ふき工	人
F. 鉄筋工	人	Q. 塗装工	人
G. 大工	人	R. コンクリート作業員	人
H. 左官	人	S. 造園工	人
I. 配管工	人	T. 建設作業に従事する その他の技能労働者 具体的に：	人
J. 熱絶縁工	人	[]	
K. 内装仕上工	人	U. わからない	

4. (上記1でAと回答した方のみご回答下さい。)

一人親方を活用している理由は何ですか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。(複数回答可)

A. 一人親方には熟練技能が備わっているから
B. 下請や協力会社に依頼するだけでは、業務をこなさきれないから
C. 技能労働者が不足しているから
D. 一人親方のほうが直接雇用よりも費用面で安く活用できるから
E. 以前自社の従業員だったから
F. その他【具体的に： _____】

5. (上記1でBと回答した方のみご回答下さい。)

一人親方を活用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○を付けて下さい。(複数回答可)

A. もともと作業が簡単であるため、一人親方の熟練技能を活用する必要がないから
B. 下請や協力会社に依頼すれば、業務を十分こなせるから
C. 技能労働者が足りているから
D. 直接雇用のほうが一人親方よりも費用面で安く活用できるから
E. その他【具体的に： _____】

◇ ご意見、ご要望等

建設業の再生に向け、現状に対応した雇用対策（建設雇用改善助成金を含む）として、行政等に期待することなどについて下記にご記入下さい。

お忙しいところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご記入後は、この調査票と一緒に送りいたしました返信用封筒（切手不要）にいれて、月 日（曜日）までにご投函ください。